

グリーンカード

日本小学生バレーボール連盟の根底の考えは、バレーボールを通して子供たちの健全育成を支えていくことにあります。また、奈良県小学生バレーボール連盟においても前述の考え方に賛同しています。ルールやマナー、スポーツマンとしての心得などをしっかりと身につけた良いプレーヤー・よい人間を育てていきたいと思っています。そのためには、子供たちの好ましくない行為を指導するだけでなく、フェアプレーや善い行いは賞賛し広めていくことが大事であると考えています。グリーンカードを用いて、みんなが善い行いでつながっていきましょう。

グリーンカードを持つのは 大会役員、審判員です。

コートの上で

審判員は試合中の子供の行動を評価しましょう。

- 例1 ミスをした選手に対して、積極的に励ましの声かけをした。
- 例2 不利な判定になる場合でも、正直に自己申告をした。
- 例3 点差や状況にかかわらず、最後まで全力でプレーをした。
- 例4 判定を素直に受入れ、終始フェアな態度で試合を終えた。

使用するタイミング

選手に対して

- ・判定終了後、左手で選手を示し、右手でカードを示す。

チームに対して

- ・試合終了時、サイドを挙げて、片方の手でカードを示す。

コートの外で

大会役員、審判員、指導者が協力して子供たちの行動を評価する

- 例1 礼儀作法など、基本的な習慣が他のチームの模範になる。
- 例2 ラインジャッジなど、補助員の役割に真剣に取り組んでいる。
- 例3 会場のゴミを拾うなど、施設や用具を大切に扱っている。
- 例4 チームのためにボール拾いや応援を頑張っている。

使用するタイミング

適切なタイミングで使用し、子供たちにフェアプレーの大切さを伝える

ありがとう
フェアプレー

JEVA